



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 澄岡 和憲
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 中根 昌幸
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3343-8911

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,858	△15.2	326	△45.4	389	△47.7	233	△53.6
28年3月期第3四半期	3,368	32.0	598	17.4	743	33.4	503	40.9

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 306百万円 (△32.8%) 28年3月期第3四半期 456百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	24.33	—
28年3月期第3四半期	52.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	9,751		8,955		91.3		927.84	
28年3月期	9,590		8,909		92.5		924.21	

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 8,905百万円 28年3月期 8,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	22.00	32.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				12.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	4,120	△9.3	500	△41.0	658	△32.9	514	2.8	53.55	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	10,649,000 株	28年3月期	10,649,000 株
29年3月期3Q	1,051,365 株	28年3月期	1,051,365 株
29年3月期3Q	9,597,635 株	28年3月期3Q	9,597,679 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現状の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部には改善の遅れもみられるものの、雇用・所得環境の改善を中心に緩やかな回復基調となっておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等のリスクがあります。

当社グループに関連するモバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンの普及が更に進むことが予想されております。

このような環境下におきまして、当社ではセグメントを集約した主力事業であるコンテンツ事業及び中長期での成長を目指す再生可能エネルギー事業に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,858,093千円（前年同期比15.2%減）、営業利益326,855千円（前年同期比45.4%減）、経常利益389,066千円（前年同期比47.7%減）、再生可能エネルギー事業で保有する固定資産にかかる減損損失を計上したものの、投資有価証券売却益等により親会社株主に帰属する四半期純利益233,543千円（前年同期比53.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、前年同期比較の数値は、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値と比較しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業の売上高は2,858,093千円（前年同期比15.2%減）、セグメント利益は581,238千円（前年同期比30.2%減）となりました。

当該事業の新たな成長の原動力とするため、スマートフォンゲームに注力しており、平成28年6月には「あつめて！リラックマ」を配信開始、平成28年7月には「すみっコぐらし〜パズルをするんです〜」を配信開始し平成28年11月には提供元を当社へ変更いたしました。

また、前期に引き続き「auスマートパス」「NTTドコモスゴ得コンテンツ」のキャリア主導サービス、新たな教養メディア「10 M TV オピニオン」の普及、海外へのコンテンツ提供などに取り組んでおります。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業の売上高は0千円（前年同期と同額）、セグメント損失は46,558千円（前年同期は39,062千円のセグメント損失）となりました。

中長期的な発電量の増加を目指すため、新たな取り組みとして、水圧管路を利用した中規模の発電設備設置の可能性に加え、発電設備設置検討立地の調査及び具体的な検討をしており、平成28年10月には、新たな発電設備設置場所として、富山県新保用水土地改良区が管理する農業用水路への発電設備設置を同改良区と契約しております。

また、宮城県大崎市へ設置した農業用開水路を活用した実証基による改良をしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して161,794千円増加した9,751,992千円となりました。その主な要因は、未収入金が4,291,298千円の増加となったものの、現金及び預金が2,725,494千円の減少及び投資有価証券が1,243,404千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して115,160千円増加した796,074千円となりました。その主な要因は、営業未払金が223,097千円の増加となったものの、未払法人税等が157,489千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して46,634千円増加した8,955,917千円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が108,398千円の増加となったものの、利益剰余金が73,580千円の減少となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「連結業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったロケットカンパニー株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,864,334	3,138,840
売掛金	1,112,861	1,144,356
有価証券	173,318	46,772
商品及び製品	11,384	16,301
仕掛品	1,654	3,787
原材料及び貯蔵品	18	18
未収入金	12,014	4,303,313
その他	132,860	239,789
貸倒引当金	△18,720	△3,341
流動資産合計	7,289,726	8,889,838
固定資産		
有形固定資産	300,006	65,320
無形固定資産	29,883	13,114
投資その他の資産		
投資有価証券	1,719,671	476,266
その他	256,909	311,652
貸倒引当金	△6,000	△4,200
投資その他の資産合計	1,970,580	783,718
固定資産合計	2,300,471	862,153
資産合計	9,590,197	9,751,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,661	15,458
営業未払金	228,469	451,566
未払法人税等	158,883	1,394
賞与引当金	-	19,500
返品調整引当金	-	1,666
その他	239,899	306,489
流動負債合計	680,914	796,074
負債合計	680,914	796,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	4,476,118	4,402,538
自己株式	△622,364	△622,364
株主資本合計	8,988,777	8,915,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△118,495	△10,097
その他の包括利益累計額合計	△118,495	△10,097
新株予約権	3,468	662
非支配株主持分	35,533	50,155
純資産合計	8,909,283	8,955,917
負債純資産合計	9,590,197	9,751,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,368,489	2,858,093
売上原価	1,720,950	1,315,614
売上総利益	1,647,539	1,542,479
返品調整引当金戻入額	7,268	-
返品調整引当金繰入額	494	1,666
差引売上総利益	1,654,313	1,540,812
販売費及び一般管理費	1,055,978	1,213,956
営業利益	598,334	326,855
営業外収益		
受取配当金	32,889	66,395
貸倒引当金戻入額	2,959	1,800
持分法による投資利益	18,016	2,653
その他	121,534	17,610
営業外収益合計	175,398	88,458
営業外費用		
為替差損	15,062	25,928
貸倒引当金繰入額	14,461	-
その他	228	319
営業外費用合計	29,752	26,247
経常利益	743,981	389,066
特別利益		
投資有価証券売却益	4,600	115,536
新株予約権戻入益	-	2,805
特別利益合計	4,600	118,342
特別損失		
固定資産除却損	674	-
減損損失	-	243,071
その他	489	395
特別損失合計	1,164	243,467
税金等調整前四半期純利益	747,417	263,940
法人税、住民税及び事業税	199,795	123,967
法人税等調整額	49,455	△58,192
法人税等合計	249,250	65,775
四半期純利益	498,166	198,165
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,312	△35,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	503,479	233,543

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	498,166	198,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,070	108,398
その他の包括利益合計	△42,070	108,398
四半期包括利益	456,096	306,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,409	341,942
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,312	△35,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,368,489	0	3,368,489	—	3,368,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,369,489	0	3,368,489	—	3,368,489
セグメント利益 (又は損失)	832,512	(39,062)	793,449	(195,115)	598,334

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去1,253千円、各報告セグメントに配分していない全社費用196,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,858,093	0	2,858,093	—	2,858,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,858,093	0	2,858,093	—	2,858,093
セグメント利益 (又は損失)	581,238	(46,558)	534,679	(207,824)	326,855

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去766千円、各報告セグメントに配分していない全社費用208,590千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて保有する固定資産について計画の変更があるため減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は243,071千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、報告セグメントを従来の「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」、「パッケージソフトウェア事業」及び「再生可能エネルギー事業」の4区分から、「コンテンツ事業」及び「再生可能エネルギー事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。